

委員は、処
 知した後
 、違反認
 証拠を補
 同農協へ
 査をして
 ぼ終了した。

された同県栗原市の養鶏場
 で、飼育する鶏約20万9千
 羽の殺処分と埋却を終えた
 と発表した。鶏舎とその周
 辺の消毒や、餌となる飼料
 を回収して埋める作業もほ
 された。

れていたが、結果的に1万
 羽ほど少なくなった。
 千葉県旭市の養鶏場の鶏
 も同型の鳥インフルエンザ
 ウイルスに感染し、25日ま
 でに約6万2千羽が殺処分
 された。

年後見制度で、後見人を務
 めた弁護士や司法書士ら
 「専門職」による財産着服
 といった不正が、昨年1年
 間に30件あり、被害総額は
 約9千万円だったことが26
 日までに、最高裁の調査で
 する。

害者に日弁連が「見舞金」
 を支払うほか、弁護士が依
 頼者から預かった資金の管
 理口座を弁護士会に届ける
 よう義務付けることにし
 た。10月に運用がスタート
 する。

今別町の北海道新幹線奥津軽
 いまべつ駅が開業1周年を迎え
 た26日、町開発センターでは「記
 念フォーラム」が開かれ、地元
 住民や周辺自治体の関係者らが
 新幹線開業効果や町の今後につ
 いて考えた。

フォーラムは町が主催し、町
 内外から約200人が出席した。
 今別小6年の若佐心音さん(12)
 と今別中3年の畠山拓斗さん
 (15)は、修学旅行で駅を利用し
 たことを振り返り「今別から新
 幹線に乗れて感動した」などと
 感想を発表した。

記念講演では、阿部義治町長

開業効果もっと

今別で課題探るフォーラム

と大学の同級生だった竹中博康
 石川県副知事が、北陸新幹線の
 開業効果について説明し、「開
 業効果を発展させるには、地域
 の個性を磨いて繰り返し訪れて
 くれるファンを増やすことが大
 切」と話した。

J R北海道の綿貫泰之取締役
 ・函館支社長は「北海道新幹線
 は観光客の利用が多い。旅客ル
 ートづくりは重要」と呼び掛け
 たほか、元県企画政策部長の小
 山内豊彦県立保健大学特任教授
 も「これからの津軽海峡交流圏」
 と題して講演した。

会場では郷土料理・あづべ汁
 の振る舞いなども行われ、開業
 1周年のムードを盛り上げた。
 (土屋実伽子)

勝負の2年目へ

ンバーら約20人が色とりど
 りの大漁旗を振り、乗客を
 出迎えた。

旅行に訪れた山形県上山
 市の市職員、田村悟さん
 (29)は、自ら旗振りにも挑
 戦し「旗振りは振る側もハ
 ッピーになれると分かっ
 た」と笑顔で話した。

「地元近くなった」
 新函館北斗駅で式典

新函館北斗駅(北海道北
 斗市)では、地元の関係者
 が横断幕を掲げ、到着客に
 記念品を渡して出迎えた。
 奥尻島に帰省する、静岡県
 伊豆の国市の教員秋山弥美
 さん(46)は「新幹線開業で
 地元が近くなった気がする。
 1周年の日に乗れてうれ
 しい」とほほ笑んだ。

J R北海道の島田修社長
 は新函館北斗駅の記念式典
 で「冬は利用が減るなど課
 題も残した1年だった。今
 年は雪が少なく、大きな遅
 れはなかったが、運行面の
 課題にもしっかり取り組み
 たい」と決意を語った。



手を振って上り新幹線を見送る関係者
 たち=26日午前10時38分、新青森駅



大漁旗を振り、大函丸の乗客を出迎える「あおぞ
 ら組」のメンバーら=26日午前10時55分、大間町

大間町

幹線利用客を歓迎した。

新青森駅

利用者が少ないが、五所川
 原市と協力し、津軽半島全
 体の観光促進のためにPR
 を続けていく」と語った。

新青森駅では近くの青森
 西高校、新城中学校、新城小
 学校の生徒・児童ら約10
 0人が「ようこそ、青森へ」
 などと書かれた横断幕で新

二次交通として期待され
 た路線バスは今年1月末時
 点で、1便当たりの乗客数
 が平均0・89人と低迷。P
 R不足、需要の掘り起こし
 が課題となった。小野俊逸

は「北海
 道新幹線が開業してから何
 度か利用しているが、1周
 年の日に乗りたかった」と
 話した。

祝・落成 五所川原市指定 地域密着型サービス 本日開設

お祝いのことば

五所川原市長

